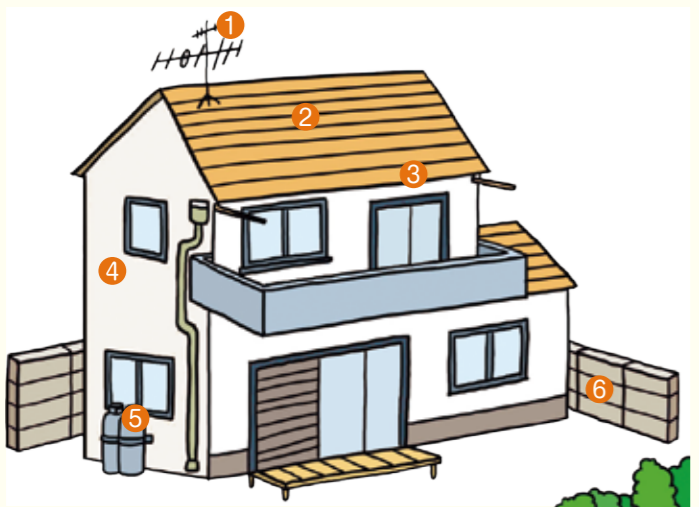


- ・大きな家具は人の出入りの少ない部屋に置く。
- ・できるだけ玄関、廊下等に物を置かない。
- ・消火用水や生活用水として、風呂の水は常に貯めておく。
(溺れ防止のため、子どもだけで浴室に入れないようにする)
- ・壁や柱にぴったりと固定できない家具は、前面に板などを差込み壁にもたれかかせる。

屋外の備え



- 1 アンテナをしっかりと固定する。
 - 2 屋根瓦やトタン屋根の破損や腐食を補修する。
 - 3 ベランダから物干し竿や植木鉢などが落下しないようにする。
 - 4 壁や基礎のひび割れや腐食を補修する。
 - 5 プロパンガスボンベを鎖でしっかりと固定する。
 - 6 ブロック塀に鉄筋を入れる。破損箇所を補修する。
- 防災上の観点から、ブロック塀はできるかぎり生け垣にしたほうが安全です。

ブロック塀等撤去助成金制度

市では、一定の要件に該当するブロック塀等の撤去に要する費用の一部を助成しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。
https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisaku/keikuaku/machitoshi/jutaku_shien/seidonoannai.html

【問合せ先】まちづくり推進課住宅係 ☎042-387-9861

生け垣造成奨励金交付制度

市では、生け垣をつくる費用の一部を助成しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。
<https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/474/zyoseiteeatyuu/ikegaki.html>

【問合せ先】環境政策課緑と公園係 ☎042-387-9860

非常持ち出し品を準備する

非常持ち出し品

飲料水・食糧
飲料水、乾パンや缶詰など火を通さなくても食べられるもの、クッキー、栄養補助食品、インスタント食品、チョコレートなど。

救急・安全用品
常備薬、救急医薬品、マスク、体温計、消毒液、ヘルメット(防災ずきん)など。

日用品
懐中電灯・予備乾電池、携帯ラジオ、ライター、手袋(軍手)、ロープ、筆記用具、紙食器、食品用ラップ、缶切り、ビニール袋、ティッシュ、ナイフ、洗面用具、簡易トイレ、生理用品、笛など。

衣類
下着、タオル、雨具など。

貴重品
現金(10円硬貨があると公衆電話利用に便利)、預金通帳、印鑑、免許証、保険証、身分を証明するものなど。

備蓄品

飲料水・食糧(最低3日分)
飲料水は一人一日3リットルが目安。ポリタンクなどに保存しておく。食品は米や簡単な調理で食べられるものを。

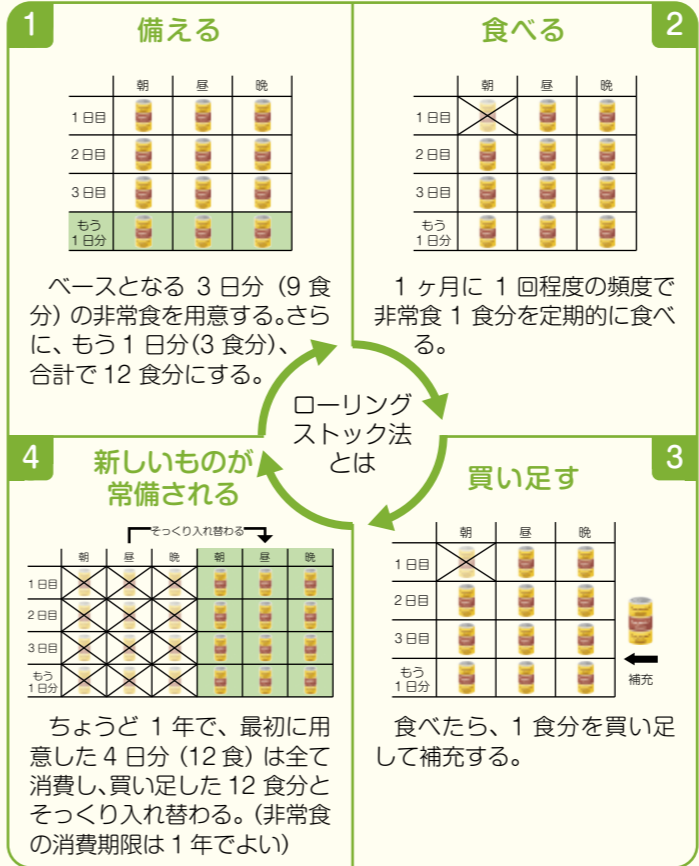
燃料
卓上コンロや固形燃料

こんな用意もしておきましょう

- 【乳幼児のいる家庭】**
粉ミルク、ほ乳びん、離乳食、スプーン、おむつ、清浄綿、抱っこひも、バスタオルまたはベビー毛布、ガーゼなど
 - 【妊婦のいる家庭】**
脱脂綿、ガーゼ、さらし、T字帯、清浄綿および新生児用品、ティッシュ、ビニール風呂敷、母子健康手帳など
 - 【要配慮者のいる家庭】**
着替え、おむつ、ティッシュ、障害者手帳、補助具の予備、常備薬、お薬手帳、予備のメガネ、緊急時の連絡先表など
- 薬は2週間程度を常備しておき、すぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。外出時にも数日分の薬を持ち歩くと安心です。
- ヘルプカード(自立生活支援課で配布)や救急医療災害支援情報キット(地域福祉課で配布)も活用しましょう。

非常食の新たな備蓄法「ローリングストック法」

「ローリングストック法」とは、日常的に非常食を食べて、食べたら買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食が備蓄される「食べ回しながら備蓄する」という方法です。



家族の連絡方法を確認しておく

災害用伝言ダイヤル171
「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生ができます。

伝言の録音: 171 → 1 → (0XX)-XXX-XXXX → 録音

伝言の再生: 171 → 2 → (0XX)-XXX-XXXX → 再生

※被災地内の人の電話番号は、市外局番からダイヤルしてください。

災害用伝言版
携帯電話から、「携帯用伝言版」を利用することができます。

伝言の登録: 災害用伝言版へのアクセス → 伝言版の登録 → 送信

伝言の確認: 災害用伝言版へのアクセス → 確認したい人の携帯電話番号の入力 → 検索

安否情報まとめて検索「J-anpi」
「電話番号」または「氏名」を入力することで、各社の災害用伝言板、報道機関、企業・団体が提供する安否情報を一括検索できます。
<http://anpi.jp>

J-anpi 検索

メールやソーシャルメディアを組み合わせる
☑携帯電話・スマートフォンのメールやFacebookやLINEなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)、Twitterなどの短文投稿は、東日本大震災でも安否確認に活用されました。

遠方の親せきなどを中継点にして連絡をとろう
☑事前に、遠方に住む親せきなどをお願いして、災害時に家族の安否確認の中継点になってもらえるようにしておきましょう。複数の連絡拠点を設けておくのが理想です。

公衆電話の設置場所を覚えておこう
設置場所の検索はこちら
☑公衆電話 設置場所検索(NTT東日本)
<https://publictelephone.ntt-east.co.jp/ptd/map/guidemap/12850645050222350>

本冊子のPDFデータのダウンロードはこちらから

小金井市防災マップ 検索

<https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/472/bosai/bosaiservice/bousaimap.html>
 発行: 小金井市
 編集: 総務部地域安全課 本町 6-6-3
 TEL/042-383-1111
 発行年月: 令和4年(2022年)3月